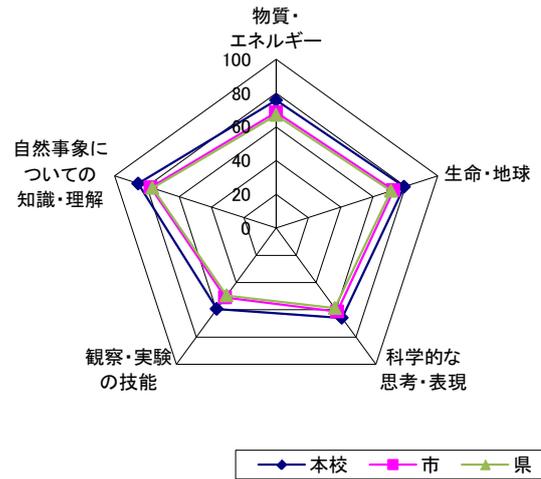


宇都宮市立海道小学校 第5学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	75.8	68.6	67.0
	生命・地球	79.3	72.7	71.1
観点	科学的な思考・表現	66.0	61.2	58.8
	観察・実験の技能	59.4	51.0	49.5
	自然事象についての知識・理解	85.4	77.7	76.6



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は県と比べて8.8ポイント高い。</p> <p>○金属の性質を基に温めるとふたが開く理由がわかること、金属は熱した部分から順に温まることがわかること、水が水蒸気になることを「蒸発」ということがわかることができています。単元のまとめの時に「とちぎっ子学習状況調査」の過去の問題を使って理解を深めてきたことや問題意識をもたせて実験や観察を行ってきた成果であると考えられる。</p> <p>●へこんだピンポン玉が元の形に戻る理由が分かることと予想が一致した場合の結果を見通すことができることに課題が見られる。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>・今後も学習プリントや理科プラス、フォローアップシート、とちぎっ子学習状況調査の過去の問題を児童に解かせることで理解が図れるようにする。</p> <p>・へこんだピンポン玉が熱湯に入れると元に戻ることにについては、風船を口につけた丸底フラスコを熱湯に入れたり氷水に入れたりする実験から空気の体積が温度によって変化することを確認し、そこからピンポン玉の中の空気の増減を説明できるようにする。</p> <p>・予想が一致した場合の結果を見通すことができることについては、問題にかかっている絵の情報から考えることで答え方を理解できるようにする。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は県と比べて8.2ポイント高い。</p> <p>○方位磁針の適切な操作方法が分かることや数時間ごとの月の動きが分かることができています。一人一人に方位磁針を持たせて使い方を確認してきたことやNHKフォアスクールの教材を利用して指導してきた成果であると考えられる。</p> <p>●方位磁針の名前がわかることや秋の頃のオオカマキリの様子が分かることに課題が見られる。</p>	<p>・月の観察など学校での指導が難しい単元については、今後もVTRやDVDなどの視聴覚教材を活用することで理解が図れるようにする。</p> <p>・方位磁針の名前については、名前を言ってから使用することで理解できるようにする。</p> <p>・秋のオオカマキリの様子については、季節の変化とオオカマキリの成長を照らし合わせて考えさせて理解できるようにする。</p>